

【注意喚起】新型コロナウイルスの感染拡大防止～職場内での3密を避けるために～

爆発的な感染拡大（オーバーシュート）・医療崩壊を避けるために、これまでの感染拡大防止策の徹底や「3つの密」を避ける、多人数で集まることを避けるなどの行動変容が求められています。

職員の皆様におかれましては、自身の感染予防に加え、職場における感染拡大の防止に十分注意してください。

■職場内での3密を避けるために

- 出席者は必要最低限の人数に絞ってください。
- 会議室内の換気に注意してください。
- 座席の間隔をあけるなど、密集しないよう工夫してください。

■職場外で3密を避けるために

- 職場の歓送迎会など、人数の多く集まる飲食の場への参加は控えてください。
- 接客を伴う飲食の場は控えて下さい。
- 大規模イベントへの参加は控えてください。
- カラオケやスポーツジムなどの利用は控えてください。

■感染予防の徹底

- 手洗い、咳エチケット等の徹底してください。
- 抵抗力が低下しないようにバランスの良い食事と十分な睡眠をとってください。
- 国の専門家会議における考え方にあるリスクを下げる3つの原則を踏まえ、人込みの多いところは避けてください。（※ 参考資料を参照）

■発熱等の症状があれば

- 発熱等の風邪症状がある方は、出勤を控えてください。また、マスクを着用してください。
- 発熱等の症状が4日（基礎疾患のある方、妊婦は2日）程度続く場合には、「新型コロナ受診相談センター（帰国者・接触者相談センター）」に電話連絡して、指示を仰ぎ、所属長へ報告してください。

■海外渡航

- 海外渡航については、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延しつつある中で、
すので慎重に考えてください。その上で、海外渡航される場合は、所属に報告する
とともに、必ず外務省の海外安全ホームページ等の情報を確認いただきますよう
お願いします。

■相談窓口

- 感染症で気になることがございましたら、保健師、産業医が相談に応じますので、
健康管理 G（内線 5 7 7 4 ・ 5 7 7 5）までご相談ください。

参考

【国の専門家会議における考え方】

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の見解」(3/9)

●集団感染が確認された場の共通点として、以下の3つの条件が同時に重なった場

- ・換気の悪い密閉空間
- ・多くの人が密集
- ・近距離（互いに手を伸ばしたら届く距離）での会話や発声

⇒これらの3つの条件ができるだけ同時に揃う場所や場面を予測し、避ける行動をとるべき

●クラスターの発生のリスクを下げるための3つの原則

1. 換気を励行する（2方向の窓を同時に開ける等）
2. 人の密度を下げる（会場の広さを確保し、お互いの距離を1－2メートル程度あける等）
3. 近距離での会話や発声、高唱を避ける

（やむを得ず近距離での会話が必要な場合マスク着用等）

上記に加え、手指衛生、咳エチケット、共用品を使わないことや使う場合の消毒、
参加者を予め把握するなど

